

科目区分	専門分野	授業科目	基礎看護学実習Ⅱ
講師	看護教員	実務経験の有無	全ての講師が経験有
単位数(時間)	2単位(90時間)	開講年次	2年次 第1学期
授業概要 *講師からのメッセージ	ゴードンの枠組みを用いて初めて看護過程を展開します。対象の問題点を明確にして看護が立案し、実践ができるようにしましょう。		
<p>目的:看護の対象となる患者及び家族を身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解し、科学的根拠に基づいて看護過程の展開ができる基礎的能力を養う</p> <p>目標: 1. 対象を理解するために必要な情報が収集できる  2. 情報を解釈・分析し看護上の問題点を明確にすることができる。  3. 対象の看護問題に応じた看護計画が立案できる  4. 看護計画に基づき、対象の状況に応じた看護実践ができる  5. 対象の反応をもとに実施した看護を振り返り、評価ができる  6. 専門用語を用いて記録・報告ができる  7. 相手を尊重する態度で実習に臨むことができる  8. 自己研鑽し、自主的に学習する姿勢を身につけることができる</p>			
授 業 内 容			
<p>1. 対象を理解するために必要な情報収集</p> <p>1) 情報源</p> <p>2) 収集方法 (1) 観察(フィジカルイグザミネーション) (2) コミュニケーション</p> <p>3) 情報の種類と分類・時期</p> <p>(1) 情報の種類 主観的データ(S) 客観的データ(O)</p> <p>(2) 情報の分類 ①アセスメントの枠組み(ゴードン: 機能的健康パターン)</p> <p>4) 情報の時期 (1) 経過の段階・種類</p> <p>2. 情報を分析し、看護上の問題点を明確化</p> <p>1) 情報の整理・分析</p> <p>(1) 現状の把握 ①情報の整理</p> <p>(2) 現状を引き起こしている原因の分析 ①健康逸脱の有無と解釈 ②強みの把握</p> <p>2) 成り行きの推論・判断</p> <p>3) 看護の必要性</p> <p>4) 全体像の把握 (1) 情報と情報との関連性 (2) 領域間の同一情報の総合</p> <p>5) 看護上の問題 (1) 実在型 (2) リスク型</p> <p>6) 優先度の判断 (1) 生命の維持に関連すること (2) 緊急性が高いこと (3) 苦痛に感じていること</p> <p>(4) 価値観による</p> <p>3. 対象の看護問題に応じた看護計画の立案</p> <p>1) 目標設定 (1) 長期目標・短期目標の設定 (2) 対象を主語にした目標設定</p> <p>(3) 具体的に観察でき測定可能な目標</p> <p>2) 計画 (1) 観察計画・ケア計画・教育計画 (2) 安全・安楽・自立性の考慮 (3) 具体的に5W1Hで表現</p> <p>4. 看護計画に基づき、対象の状況に応じた看護実践</p> <p>1) 対象の本日の状態・生活リズムを考慮した生活援助の実施</p>			

<p>2) 対象の反応を確認しながらの実施</p> <p>3) 援助技術の安全性・安楽性・自立性の原則に基づいた実施</p> <p>4) 日常生活援助の内容</p> <p>(1) 食事の援助 (2) 排泄の援助 (3) 清潔の援助 (4) 環境への援助 (5) 移動・移送への援助</p> <p>5) 精神的、社会的側面への援助</p> <p>(1) 不安の緩和 (2) 社会的役割、家族を考慮した関わり (3) 家族への配慮</p> <p>5. 対象の反応をもとに実施した看護の振り返り、評価</p> <p>1) 実施の評価</p> <p>(1) 実施可能かどうかの判断 (2) 実施前の計画の見直し(追加修正) (3) 対象の反応の観察</p> <p>(4) 安全・安楽・自立性の考慮 (5) プライバシーの保護(倫理的配慮) (6) 目標達成の有無と判断</p> <p>2) 目標の達成度の評価</p> <p>(1) 目標達成の状況 (2) 評価レベル (3) 目標達成または、目標達成に至らなかった状況の考察</p> <p>3) 追加・修正</p> <p>(1) 新たな情報の追加 (2) 新たな看護上の問題の追加 (3) 短期目標・長期目標の修正 (4) 具体策の修正</p> <p>6. 対象を尊重した態度</p> <p>1) 対象を尊重する態度 2) 主体的な学習 3) チームワーク 4) 医療安全に対する配慮</p> <p>5) 自己の看護観を明確化</p>			
授業方法	臨地実習	実習場所	岩国医療センター 広島西医療センター
評価方法	以下の内容を実習評価表(100点)に沿って評価を行う 患者理解・看護実践・実習態度・実習記録・出席状況		
備考	<p>関連科目で用いたテキストを活用する。実習要項で提示された事前学習をする。</p> <p><b>【関連科目】</b>          人体形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、微生物学、病理学総論、病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、栄養学、薬理学総論・各論、治療論、看護学概論、共通基本技術、生活援助技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、診療の補助技術、臨床看護総論Ⅰ・Ⅱ、成人看護学概論・老年看護学概論</p>		